

茨城県報 号 外

昭和38年 4 月25日

木 曜 日

(明治35年 3 月17日)
第三種郵便物認可)

告 示

茨城県告示第445号

水稻，陸稻，なたねの奨励品種を次のとおり追加する。

なお，水稻「ギンマサリ」陸稻「農林24号」裸麦「ツクバハダカ」なたね「農林5号」を奨励品種から除外する。

昭和38年 4 月25日

茨城県知事 岩 上 二 郎

水 稻「関東糯64号」

来 歴

関東糯64号は昭和28年農林省農事試験場において，F:249号（注1）を母とし農林糯45号を父として人工交配を行ない，以降同場において選抜固定を図り，昭和33年関東糯64号の系統名をもつて関係都県農業試験場に配付し，本県においても奨励品種決定試験に供試していたものであるがその成績優秀なので，この度奨励品種に編入する。

特性概要

この系統は成熟期，// 埼玉糯10号 // 程度の中生種で同品種に比しやや稈長低く，穂数も少なめの穂重型品種である。稈は強く収量性はかなり高い，稈先の色は淡紅色で粒着は普通，粒の大きさはやや大きく玄米の品質は良好である。カラバエに対する耐虫性はやや弱い欠点はあるが，紋枯病耐病性は普通であり白葉枯病耐病性は埼玉糯10号に比しやや強く，葉いもち病に対する耐病性は特に強く首いもち病にも強い特徴をもっている。

陸 稻「タチミノリ」

来 歴

この品種は昭和23年，農林省石岡農事改良実験所において，陸稻関東48号（注2）を母とし陸稻農林12号を父として人工交配を行ない，以降同実験所において選抜固定を図り，昭和29年 // 石系21号 // の系統番号を付して，その適応性を検し，昭和36年 // 陸稻関東67号 // の地方番号を付して関係都県に配付して，地方的適否をたしかめ昭和37年に「タチミノリ」と命名登録されたものである。

本県農業試験場においては，昭和34年以来奨励品種決定試験，供試材料として検討を加えつつあつたが，その成績良好なので昭和38年奨励品種に編入する。

特性概要

穂揃いのきわめて良好な中稈やや多けつの中間型品種で芒は少なく，稈先の色は淡褐色であ

る。藁はしなやかで強く、稔実、熟色ともによく、粒着はやや密で、幾分脱粒し難く米質食味ともに良好である。

成熟期は「農林12号」より5～7日おそく瘠地適応性の比較的高い、耐旱性の程度はやや強い品種である。

また倒伏、首いもち病に対しては極めて強く、株枯病及び葉いもち病にも強い。多肥栽培、或いは肥沃地にもよく耐えて収量性は農林24号より可成り高く、特に畑地灌漑栽培において極めて多収性を発揮している。

なたね「アサヒナタネ」

来 歴

昭和25年農林省安積農事改良実験所において、農林16号を母とし、磯部在米を父として、人工交配を行ない、爾來同所において選抜固定を図り、昭和32年に東北41号の系統名を付して、その種子を関係都県に配付して地方的適否をたしかめ昭和34年11月に「アサヒナタネ」と命名登録されたものである。

本県農業試験場においては、昭和32年以降原種決定試験、供試材料として供試し検討を加えつつあつたが、その成績極めて優秀なので主として畑作用ナタネとして奨励品種に編入する。

特性概要

農林16号に比して、成熟期は3～4日遅く草丈やや高く、枝稇太く強剛で倒伏しにくい、分枝は少ないがよく発達して穂が長く、着莢密度はやや疎いが一穂莢数は多い。莢は短い種子の内蔵は密で一莢結実粒数は多く極めて多収性で粒は中粒黒色、粒整いいく良質で特に、油分含量の極めて高い優秀な品種である。

耐寒、耐雪性きわめて強く、根腐病、空洞病、耐湿性ともに農林16号より強い、又多肥条件で多収であるが磷酸の欠乏した火山灰土壌に対する適応性も高く、秋播性程度の高い品種であるから早期抽苔の危険性の少ない洪積台地畑に好適する。待望の畑作用なたねである。

注1 (F₁農林25号×杜稻)×農林36号²

注2 (農林糯1号×東海25号)

毎週月・水・金曜日発行 (緊急事項は号外発行) (定価送料とも1ヵ月)
(休日の場合は繰り下ぐ) (金 1 0 0 円)

茨城県水戸市北三ノ丸119番地

茨城県水戸市北三軒町24番地の4

発行人 茨 城 県
発行所

印刷所 茨 城 県 印 刷 所

(第三種郵便物認可)